

## 「日本経済論」中間試験の採点結果(50点満点で採点)

## 1. 単位取得の条件と受講の心構え

シラバスにもあるとおり、通期でみて3分の2以上の授業に出席していない人は、単位認定の対象外です。また、試験に不真面目な回答をした人(試験会場で例示します)や、中間試験と期末試験の両方を受けていない人(一方だけでは駄目です)についても、同様に単位認定の対象外です。

欠席届に相当するようなやむを得ない事情で中間試験を受けられなかった人(ただし、通期で2/3以上出席できる人に限ります)については、申し出があれば追試の実施も検討します。

受講生の皆さんにとっては、目先の単位取得が大事かもしれませんが、しかしながら、皆さんの就職活動や、社会人としての生活を展望すると、日本経済論を学生のうちに正しく理解することが大切です。私の授業では、実務経験を活かして、類書に出ていない非常に重要な内容(特に後半の金融関係)についても話していきます。

単位認定の対象外になった人でも、私語などで他人に迷惑をかけない限り、私の授業に出ることを拒否しません。日本経済論について確かな知識を身につけるよう、努力しましょう。

**警告! : 特に卒業がかかっている人は、この機に後半の勉強方針を真剣に考えて下さい。もちろん、勉強せずに不合格になるのも皆さんの自由です。**

私の授業では出席点を一切つけません(足切りの基準とするだけです)ので、授業内容をしっかり理解するように努力しましょう。今回の成績が良くなかった人は、後半部分の授業でどのように対応すればよいかよく考え、しっかりとした行動に移す必要があります。

## 2. 商経学部・経営学部などの受験者21名(不受の2名を除きます)

うち45点以上	1名	このまま勉強すれば優の可能性大(よく頑張りました)
40点~44点	3名	このまま勉強すれば優の可能性
35点~39点	3名	このまま勉強すれば良の可能性
30点~34点	6名	このまま勉強すれば可の可能性 <u>気を抜かずに</u>
25点~29点	3名	後期に頑張ればなんとか可となるかも
20点~24点	4名	後期にかなり勉強すれば可となるかも
19点以下	1名	後期に大いに勉強しないと不合格

平均点 31.2点 最高 46点 最低 16点

(採点関連の注意点)

日本の財・サービスの輸出はGDPの1割を大きく超えますが、経常収支の黒字は数%しかありません。輸入などを引く必要があるからです。この機会に、正確に理解して下さい。国債利払いは、「過去5年間増加し続けて」いるわけではありません。確かに国債残高は

急増していますが、低い金利の国債に置き換わる効果が大いのです(実際、平成 11 年度から 15 年度まで一般政府の利払い費は減少しています)。もっとも、これ以上金利が下がることは考えにくいので、遠からず年々増える局面に変わると考えられます。

(全体の印象)

出席管理を厳格化したにも関わらず、あまり平均点がよくありません(31.2 点)。また、できた人とできなかった人差も大きくみられます。今回ある程度の点数を取れた人は、後半も気を抜かずに勉強してください。

また、記述式の問題については、あまり点数が伸びていません(20 点満点で平均 8.4 点)。試験を受けるからには、**意味のある解答を書くだけの経済学・日本経済の基礎知識を身につけておいて下さい**。そもそも、こうした知識のない人は単位の対象になりません。

**警告!**：前期のままで単位を取れそうな人は **62%に過ぎません**。残り 38% の人は、後期に心を入れ替えて大いに勉強しないと、単位を取れません。

昨年日本経済論では、授業に全く出ていない人が沢山試験を受けましたが、全員、不受にしました。レポートの提出等は一切認めません。

以上